

地域アクションプランに関する意見交換の状況

資料4

主な意見 (※下線は具体的に検討する取り組み)

高知市

- 上から旗を振るだけでなく、下からの盛り上がりが必要
- 「チーム高知」なんだと思える活動を後押しするような支援が必要
- 小さな事業所からみれば、大きな補助金は距離を感じる
- 助成制度がなくなれば萎んでしまうものも多い(助成制度がなくてもやっていたりできるようにすることが大切)計画の考え方を見直す時期ではないか
- 行政の支援体制(支援策)を知らない人が多いと思う(情報発信、制度のアナウンスの充実)
- 人づくりと仕組みづくりが重要(これができれば何でもできていると感じている)
- 県外で高知産品を売り込むスキルの高い販売員、派遣スタッフが確保できる仕組みが欲しい
- 地元の熱い人間を育てていくことが必要
- 目指せ弥太郎商人塾に参加し、現場のスキルが格段に上がった
- 一次産業が成長するような加工・販売の取り組みが必要
- 県外への波及を考えた時に何をアピールしていくのか、「高知市といえど何」というところを整理する必要がある
- 物流面で高知市が窓口となって仕組みを考えてほしい
- アクションプランの位置づけ、方向性を明確にする必要がある(民間事業者の様々な取組みの拾い上げなど)